

準特定建築物(300㎡以上2,000㎡未満)  
の完了届の書式

届出者（建築主）の情報を記入

再生可能エネルギー利用設備設置完了届

提出日を記入

(宛先) 京都市長	令和〇〇年 〇〇月 〇〇日
届出者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	届出者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
京都市中京区上本能寺前町488番地	建築 審子 電話 075-000-0000

京都市地球温暖化対策条例第64条の規定により届け出ます。

準特定建築物	名称	株式会社〇〇 本社ビル 新築工事
	所在地	京都市〇〇区〇〇通東入〇〇上ル〇〇町〇-〇
	用途	共同住宅
	工事の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築
	床面積の合計	567.89 平方メートル（うち増築部分の面積 平方メートル）
	工事の完了年月日	令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

チェック☑を忘れずに

対象建築物の面積を記入  
カーポートなどの  
別棟の附属建物は含めない

設置した再生可能エネルギー利用設備の種類及び利用することが可能な再生可能エネルギーの量	太陽光発電設備	35,036.8メガジュール/年
	太陽熱利用設備	メガジュール/年
	バイオマス利用設備	メガジュール/年
	風力発電設備	メガジュール/年
	水力発電設備	メガジュール/年
	地熱発電設備	メガジュール/年
	合計	35,036.8メガジュール/年

注1 該当する口には、レ印を記入してください。

2 利用することが可能な再生可能エネルギーの量については、その算定根拠を明らかにした計算書を添付してください。

※京都市提供の「木材基準量及び利用料計算表（例）」を使用する場合の説明です。同等の内容であれば、独自の資料でも構いません。

●再生可能のエネルギーの利用量の算出表（例）準特定建築物ver.

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	再生可能エネルギー利用量算出基準に基づく算出表(例)													
2	準特定建築物ver.													
3	R4年11月版													
4	青色部分を記入													
5	1. 再生可能エネルギーの義務量													
6	延べ床面積(単位:㎡) 義務量(単位: MJ)													
7	300㎡以上2,000㎡未満 30000													
8	2. 再生可能エネルギーの利用の量													
9	(1)太陽光発電設備													
10	年間発電量等 一次エネルギー量													
11	E <sub>PY</sub> = P <sub>AS</sub> × H <sub>AY</sub> × K ÷ G = 3589.8414 kWh/年 ⇒ 35036.8 MJ													
12	利用量の合計 35036.8 MJ													
13	3. 再生可能エネルギー利用設備の種類に応じたエネルギー量の算出													
14	(1)太陽光発電設備													
15	設置する太陽電池モジュール一枚当たりの定格出力(単位:W) 295													
16	P <sub>AS</sub> 設置する太陽電池モジュールの枚数 × 12													
17	設置する太陽電池モジュールの定格容量(単位: kW) 3.54													
18	年間の日射量(単位: kWh/㎡・年) 1251.95													
19	H <sub>AY</sub> θ 傾斜角(モジュール又は集熱部と水平方向との角度)(単位:°) 0													
20	γ 方位角(真南を0°とし、東西方向への回転角)(単位:°) 10													
21	K 総合設計係数 0.8													
22	太陽電池の種類 結晶系													
23	G 標準試験強度における日射強度(単位: kW/㎡)													
24	E <sub>PY</sub> 年間の発電量(単位: kWh/年) 3589.84143													

自動入力される  
表紙に転記

太陽光パネル1枚の定格出力  
太陽光パネルの枚数  
を入力

プルダウンで  
種類を選択

太陽光パネルの  
傾斜角、方位角を入力